

令和3年度 医療勤務環境改善に関するアンケート 集計結果

調査の概要

調査の目的

勤務環境の改善に取り組む医療機関への支援を進めるにあたり、医療勤務環境改善事業の認知度や医療機関における勤務環境改善の取組状況などを把握するため、アンケート調査を実施した。

調査項目

- I 医療勤務環境改善事業の認知度について
- II 貴医療機関の取組について
- III 医師の労働時間短縮に向けた取組について
- IV 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

調査方法

- 対象施設 : 高知県内の医療機関184施設（病院121、有床診療所63）
- 回収方法 : アンケート票を郵送で送り、FAXで回収
- 実施期間 : 令和3年12月17日（金）～令和4年1月7日（金）

回収結果

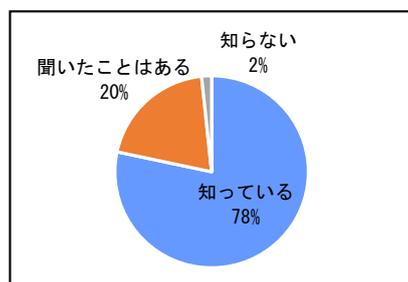
- 回答数 : 120
- 回収率 : 65.2%

調査結果

I 医療勤務環境改善事業の認知度について

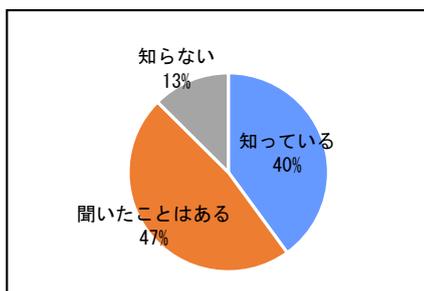
設問1 医療法が改正され、平成26年10月から「医療機関の管理者は、医療従事者の勤務環境の改善に努めなければならない」ことになっていますが、これをご存知ですか。（一つだけ選択）

回答	件数
知っている	94
聞いたことはある	24
知らない	2
合計	120



設問2 勤務環境改善を行うための参考となる「勤務環境改善マネジメントシステム」があることをご存知ですか。（一つだけ選択）

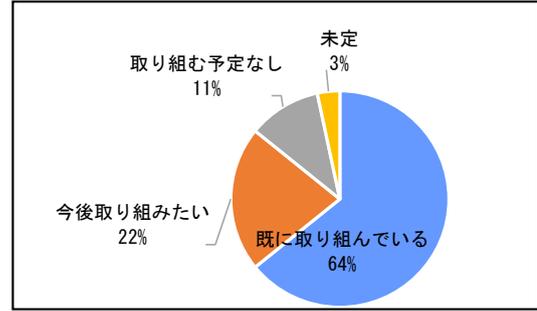
回答	件数
知っている	48
聞いたことはある	57
知らない	15
合計	120



II 貴医療機関の取組について

設問1 現在、勤務環境改善に取り組んでいますか。(一つだけ選択)

回答	件数
既に取り組んでいる	77
今後取り組みたい	26
取り組む予定なし	13
未定	4
合計	120

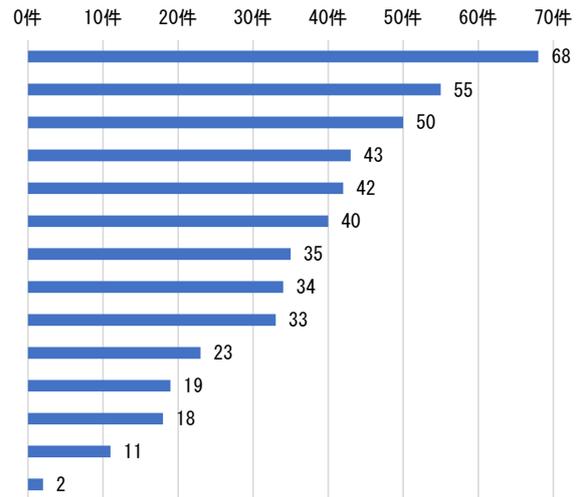


設問1-1 「既に取り組んでいる」と回答した場合
当てはまる取り組みに○を付けてください。(複数選択可)

勤務環境改善に取り組んでいる医療機関の取組内容

77医療機関の回答

回答	件数
年次有給休暇取得の促進	68
ハラスメントのない職場	55
時間外労働時間の削減	50
子育て支援制度の整備・充実	43
メンタルヘルス対策	42
教育や研修制度の充実	40
公正な人事考課制度	35
勤務シフトの見直し	34
同一労働同一賃金	33
夜間の人員配置	23
労使間の対話の機会整備	19
離職者の減少	18
労務管理者向けマネジメント研修の受講	11
その他	2

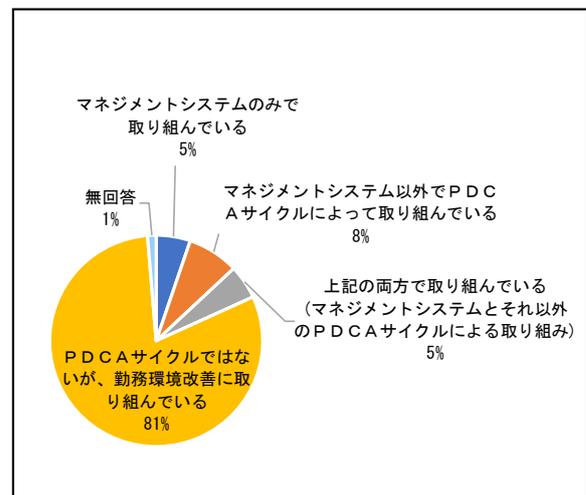


「その他」の記入内容

- ・医師の当直回数の縮減
- ・記載なし

設問1-2 取り組みに使用しているシステムに○を付けてください。(一つだけ選択)

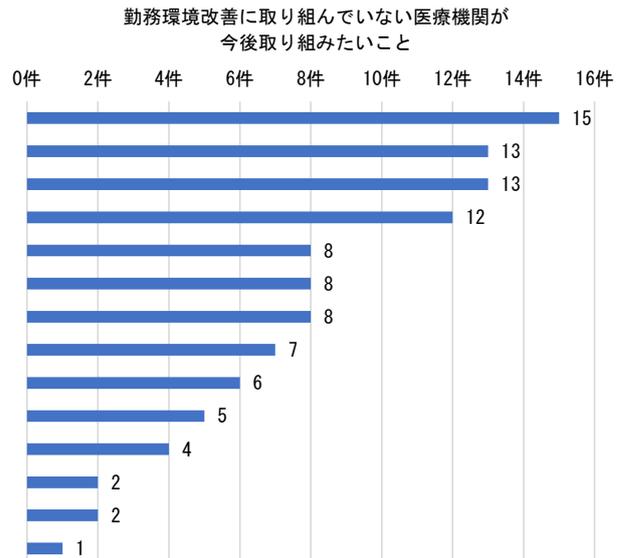
回答	件数
マネジメントシステムのみで取り組んでいる	4
マネジメントシステム以外でPDCAサイクルによって取り組んでいる (例:看護協会「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」事業など)	6
上記の両方で取り組んでいる (マネジメントシステムとそれ以外のPDCAサイクルによる取り組み)	4
PDCAサイクルではないが、勤務環境改善に取り組んでいる	62
無回答	1
合計	77



設問1-3 「今後取り組みたい」と回答した場合
 当てはまる取り組みに○を付けてください。（複数選択可）

26医療機関の回答

回答	件数
年次有給休暇取得の促進	15
時間外労働時間の削減	13
離職者の減少	13
ハラスメントのない職場	12
勤務シフトの見直し	8
子育て支援制度の整備・充実	8
メンタルヘルス対策	8
教育や研修制度の充実	7
公正な人事考課制度	6
同一労働同一賃金	5
夜間の人員配置	4
労使間の対話の機会整備	2
労務管理者向けマネジメント研修の受講	2
その他（ ）	1



「その他」の記入内容

- ・手当支給額の見直し

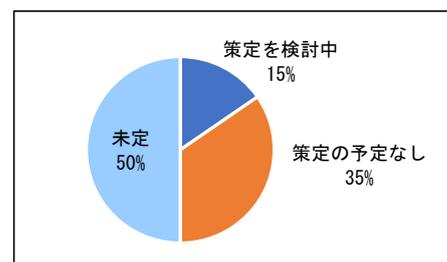
参考 「既に取り組んでいる」と回答しているが、「今後取り組みたい」として、次の任意の回答があった。

件	件		
離職者の減少	8	年次有給休暇取得の促進	3
教育や研修制度の充実	8	勤務シフトの見直し	2
時間外労働時間の削減	6	子育て支援制度の整備・充実	2
公正な人事考課制度	5	ハラスメントのない職場	2
メンタルヘルス対策	5	その他	1
労使間の対話の機会整備	4		
労務管理者向けマネジメント研修の受講	4	「その他」の記入内容	
		・労働環境の設備	

設問1-4 「今後取り組みたい」と回答した場合
 「勤務環境改善マネジメントシステム」を導入し、勤務環境の改善計画を策定する予定はありますか。
 （一つだけ選択）

26医療機関の回答

回答	件数
策定を検討中	4
策定の予定なし	9
未定	13
合計	26

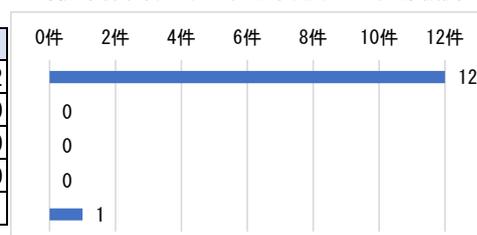


設問1-5 「取り組む予定なし」と回答した場合
 当てはまる理由に○を付けてください。（複数選択可）

13医療機関の回答

回答	件数
勤務環境に大きな課題はない	12
取り組み方が分からない	0
取り組みたいが、時間がない	0
取り組みたいが、費用がない	0
その他	1

勤務環境改善に取り組む予定なしの医療機関の理由



「その他」の記入内容

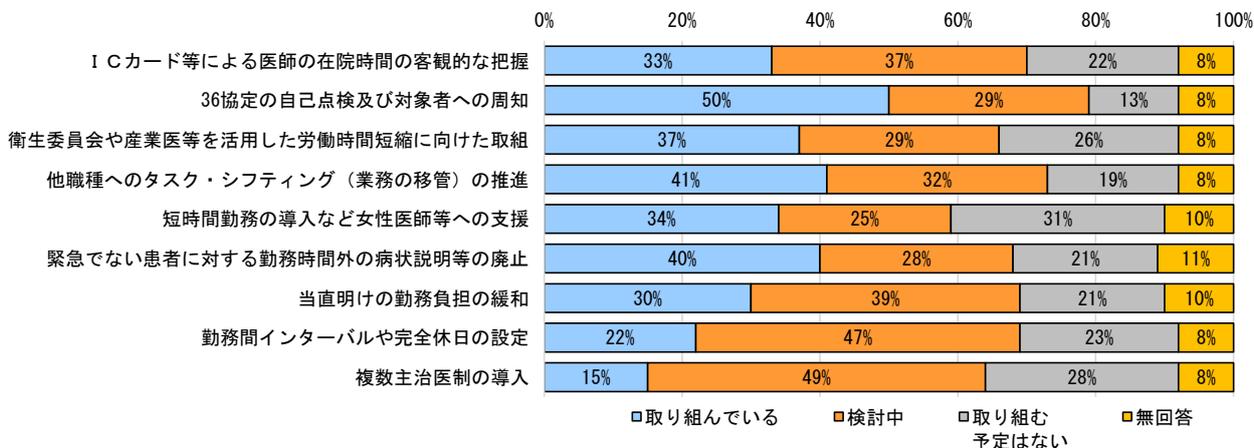
- ・必要が生じてない

Ⅲ 医師の労働時間短縮に向けた取組について

設問1 平成30年2月にとりまとめられた「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」に掲げられた以下の項目について、現在の取り組み状況をそれぞれの項目の該当するもの1つに○をしてください。なお、「取り組む予定はない」の場合は、その理由を記述してください。

項目	取り組んでいる	検討中	取り組む予定はない	無回答	合計
ICカード等による医師の在院時間の客観的な把握	39	45	26	10	120
36協定の自己点検及び対象者への周知	59	35	16	10	120
衛生委員会や産業医等を活用した労働時間短縮に向けた取組	44	35	31	10	120
他職種へのタスク・シフティング（業務の移管）の推進	49	38	23	10	120
短時間勤務の導入など女性医師等への支援	41	30	37	12	120
緊急でない患者に対する勤務時間外の病状説明等の廃止	49	33	25	13	120
当直明けの勤務負担の緩和	36	47	25	12	120
勤務間インターバルや完全休日の設定	26	57	27	10	120
複数主治医制の導入	18	58	34	10	120

医師の労働時間短縮に向けた取組について



◆取り組む予定がない理由

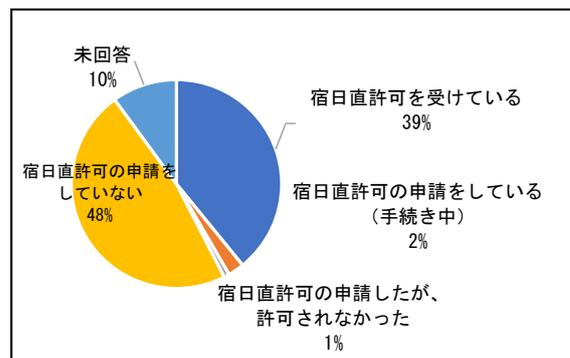
項目	理由（上位3つ、数字は回答数）	
ICカード等による医師の在院時間の客観的な把握	時間外労働がない	4
	把握している	3
	医師が少ない 他	2
36協定の自己点検及び対象者への周知	勤務医がいない、院長のみ	3
	医師一人のため	2
	現状必要ない	2
衛生委員会や産業医等を活用した労働時間短縮に向けた取組	時間外労働がない	5
	医師一人のため	3
	現状必要ない 他	2
他職種へのタスク・シフティング（業務の移管）の推進	勤務医がいない、院長のみ	2
	医師一人のため	2
	時間外労働がない 他	2
短時間勤務の導入など女性医師等への支援	女性医師がいない	15
	勤務医がいない、院長のみ	3
	医師一人のため 他	2

緊急でない患者に対する勤務時間外の病状説明等の廃止	勤務医がいない、院長のみ	3
	実例がない	2
	医師一人のため 他	2
当直明けの勤務負担の緩和	当直がない	3
	医師一人のため	3
	勤務医がいない、院長のみ 他	3
勤務間インターバルや完全休日の設定	医師一人のため	3
	勤務医がいない、院長のみ	3
	現状必要ない	2
複数主治医制の導入	勤務医がいない、院長のみ	3
	医師一人のため	3
	医師不足のため	3

※すべての回答内容は次ページに掲載しています。

設問2 医師の宿日直業務について、労働基準監督署から宿日直の許可を受けていますか。（一つだけ選択）

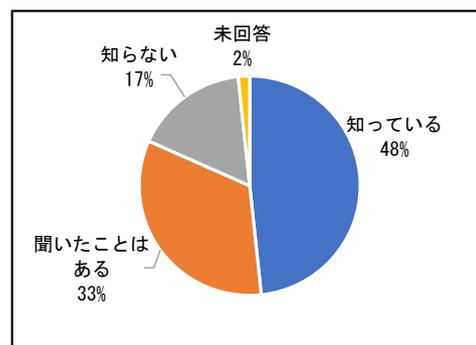
回答	件数
宿日直許可を受けている	47
宿日直許可の申請をしている (手続き中)	3
宿日直許可の申請したが、許可されなかった	1
宿日直許可の申請をしていない	57
未回答	12
合計	120



IV 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

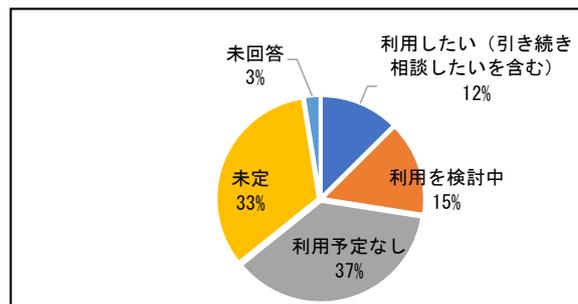
設問1 当センターでは、専門分野のアドバイザーが勤務環境改善に関する相談支援を無料でやっていることをご存知ですか。（一つだけ選択）

回答	件数
知っている	58
聞いたことはある	40
知らない	20
未回答	2
合計	120



設問2 当センターの専門アドバイザーによる相談支援を利用したいと思いますか。（一つだけ選択）

回答	件数
利用したい (引き続き相談したいを含む)	15
利用を検討中	18
利用予定なし	44
未定	40
未回答	3
合計	120



設問2-1 「利用予定なし」と回答した医療機関にお尋ねします。
 利用する予定が無い理由に○を付けてください。（複数選択可）



「その他」の記入内容

- ・過去に利用済
- ・特に問題がない
- ・環境改善にすでに着手している
- ・クリニックなので本院分を参考としている
- ・該当なし
- ・時間的余裕なし

設問3 当センターでは、ニュースレターを毎月発行しています。
 ニュースレターで取り上げてもらいたいテーマがありましたら、ご記入ください。

記入内容

- ・医師の働き方改革
- ・公正な人事評価制度の立案ノウハウ
- ・宿日直で認められた具体的な事例

※4 ページ Ⅲ 医師の労働時間短縮に向けた取組について「取り組む予定がない理由」

() 内数字は件数。1件の場合は件数省略

1. ICカード等による医師の在院時間の客観的な把握

- ・時間外労働がない (4)
- ・把握している (3)
- ・医師が少ない (2)
- ・医師一人のため (2)
- ・勤務医がいない、院長のみ (2)
- ・クリニックは該当しない (2)
- ・費用不足、時間がない
- ・在院時間はほぼ把握できている
- ・現状問題なし
- ・現状必要ない
- ・常勤医師に環境改善の要望なし
- ・勤務環境に不平不満は無く、医師の定数は十分に充足している
- ・勤務環境に大きな課題がない
- ・医師数が少なく他の方法で代用予定
- ・市全体での取組み状況と同調
- ・医師が使用しない
- ・閉院予定のため

2. 36協定の自己点検及び対象者への周知

- ・勤務医がいない、院長のみ (3)
- ・医師一人のため (2)
- ・現状必要ない (2)
- ・勤務環境に大きな課題がない
- ・把握している
- ・時間外の業務は少ない
- ・時間外労働がない
- ・長時間の時間外労働なし (36協定範囲内)
- ・クリニックは該当しない
- ・常勤医師に環境改善の要望なし
- ・意識はしているが、スタッフ欠員状態で余裕なし
- ・勤務環境に不平不満は無く、医師の定数は十分に充足している
- ・閉院予定のため

3. 衛生委員会や産業医等を活用した労働時間短縮に向けた取組

- ・時間外労働がない (5)
- ・医師一人のため (3)
- ・現状必要ない (2)
- ・勤務医がいない、院長のみ (2)
- ・適正範囲である (2)
- ・常勤医師での残業はほとんどない
- ・過重労働時間でない
- ・労働時間が長くない
- ・労働時間を短縮させようがない
- ・クリニックは該当しない
- ・現状で特に問題なく運営されている
- ・勤務環境に大きな課題がない
- ・勤務環境に不平不満は無く、医師の定数は十分に充足している
- ・費用不足、人員不足
- ・他の委員会等にて検討を行うため
- ・閉院予定のため

4. 他職種へのタスク・シフティング（業務の移管）の推進

- ・勤務医がいない、院長のみ (2)
- ・医師一人のため (2)
- ・時間外労働がない (2)
- ・現状必要ない (2)
- ・現状で特に問題ない (2)
- ・必要性、要望等がない
- ・常勤医師に環境改善の要望なし
- ・勤務環境に大きな課題がない
- ・勤務環境に不平不満は無く、医師の定数は十分に充足している
- ・スタッフ欠員状態で余裕なし
- ・医療クラーク等の専門職導入の予定なし
- ・他職種が負担を負っている
- ・タスクシフト可能な業務がない
- ・クリニックは該当しない
- ・閉院予定のため

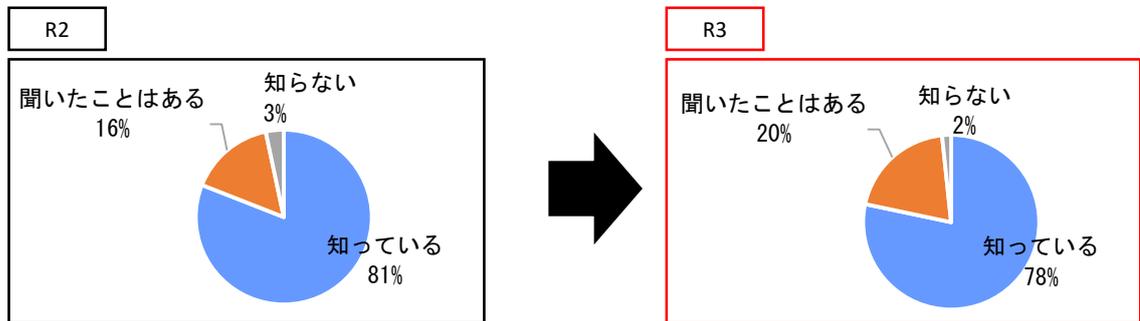
5. 短時間勤務の導入など女性医師等への支援
- ・女性医師が少ない（15）
 - ・勤務医が少ない、院長のみ（3）
 - ・医師一人のため（2）
 - ・現状必要ない（2）
 - ・現状で特に問題ない（2）
 - ・非常勤の女性医師1名の為
 - ・現在独身医師のみ在籍中のため
 - ・ほとんど残業がないので取り組まなくても問題がない
 - ・時間外労働がない
 - ・常勤医師に環境改善の要望なし
 - ・院内保育所があるため
 - ・短時間勤務を必要とする配置でない
 - ・閉院予定のため
6. 緊急でない患者に対する勤務時間外の病状説明等の廃止
- ・勤務医が少ない、院長のみ（3）
 - ・実例がない（2）
 - ・医師一人のため（2）
 - ・現状で特に問題ない（2）
 - ・現状必要ない（2）
 - ・時間外労働が少ない
 - ・時間外労働がない
 - ・時間外対応が元々少ない
 - ・常勤医師に環境改善の要望なし
 - ・勤務環境に大きな課題がない
 - ・勤務環境に不平不満は無く、医師の定数は十分に充足している
 - ・地域に根差した病院なので完全に廃止できない
 - ・クリニックは該当しない
 - ・閉院予定のため
7. 当直明けの勤務負担の緩和
- ・当直がない（3）
 - ・医師一人のため（3）
 - ・勤務医が少ない、院長のみ（3）
 - ・医師不足のため（3）
 - ・現状必要ない（2）
 - ・宿直のため不要（2）
 - ・時間外労働がない
 - ・役員で当直を行う
 - ・常勤医師での当直はない
 - ・勤務環境に不平不満は無く、医師の定数は十分に充足している
 - ・クリニックは該当しない
 - ・閉院予定のため
8. 勤務間インターバルや完全休日の設定
- ・医師一人のため（3）
 - ・勤務医が少ない、院長のみ（3）
 - ・現状必要ない（2）
 - ・常勤医は完全休日を取れている
 - ・完全休日あり
 - ・元来完全休日が多い
 - ・常勤医師に環境改善の要望なし
 - ・勤務環境に大きな課題がない
 - ・現状で特に問題なく運営されている
 - ・ほぼ完全休日は達成できている（医師不足の地域があるため完全ではない）
 - ・時間外労働がない
 - ・現在インターバルをわざわざ取らないといけない勤務状況ではない
 - ・勤務環境に不平不満は無く、医師の定数は十分に充足している
 - ・スタッフ欠員状態で余裕なし
 - ・宿日直許可申請中の為
 - ・クリニックは該当しない
 - ・閉院予定のため
9. 複数主治医制の導入
- ・勤務医が少ない、院長のみ（3）
 - ・医師一人のため（3）
 - ・医師不足のため（3）
 - ・医療方針上不可としている（2）
 - ・現状必要ない（2）
 - ・医師数が多くない
 - ・医師を雇う余裕なし
 - ・主治医制がない
 - ・協力関係が少ない
 - ・検討されたことがない
 - ・小病院のため常勤医師を複数雇い入れは不可能
 - ・主治医が不在時は他医師が対応している
 - ・定期異動があるため現状の体制が望ましい
 - ・常勤医師に環境改善の要望なし
 - ・現状で特に問題なく運営されている
 - ・勤務環境に大きな課題がない
 - ・勤務環境に不平不満は無く、医師の定数は十分に充足している
 - ・クリニックは該当しない
 - ・閉院予定のため

令和3年度アンケート調査結果の前年度との比較

R2年度 …回答数：121（調査対象医療機関187） 回収率：64.7%
 R3年度 …回答数：120（調査対象医療機関184） 回収率：65.2%

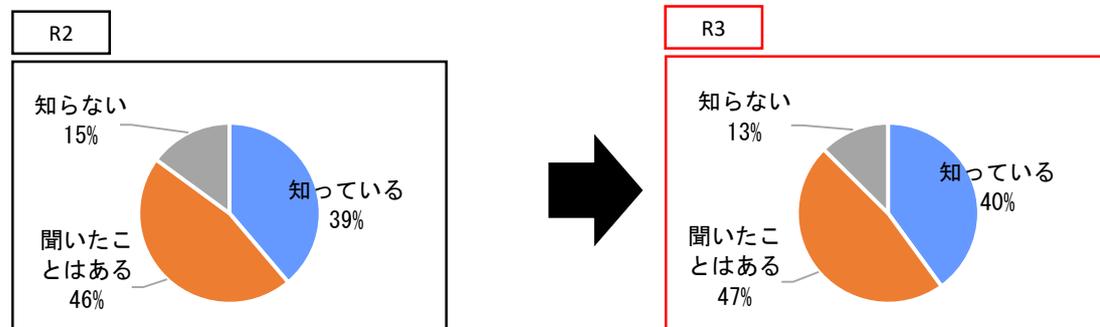
I 医療勤務環境改善事業の認知度について

設問1 医療従事者の勤務環境改善が努力義務となっていることの認知度



【R2】 知っている81% + 聞いたことはある 16% = 97%
 【R3】 知っている78% + 聞いたことはある 20% = 98%
 ⇒ 昨年度より「知っている」の割合が減ったが、「聞いたことがある」の割合が増え、大部分の医療機関に知られている。

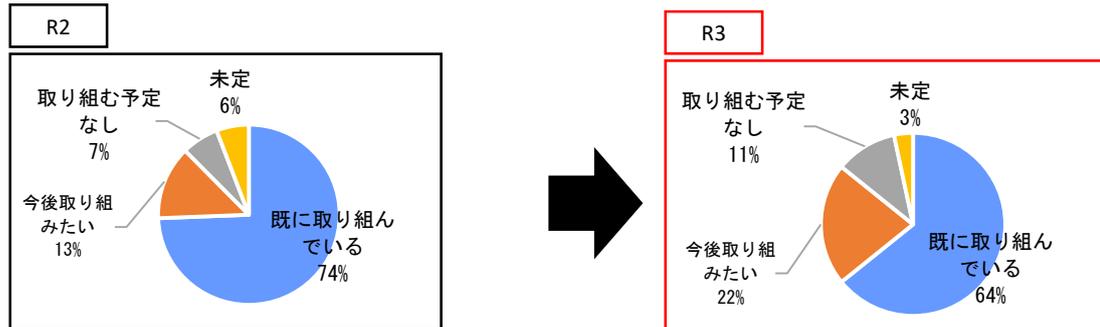
設問2 勤務環境改善マネジメントシステムの認知度



【R2】 知っている 39% + 聞いたことはある 46% = 85%
 【R3】 知っている 40% + 聞いたことはある 47% = 87%
 ⇒ 「知っている」、「聞いたことがある」の割合が増え、全体として認知度が上がった。「聞いたことはある」も含めると、約9割の医療機関に知られている。

II 医療機関の取組について

設問1 勤務環境改善の取組状況

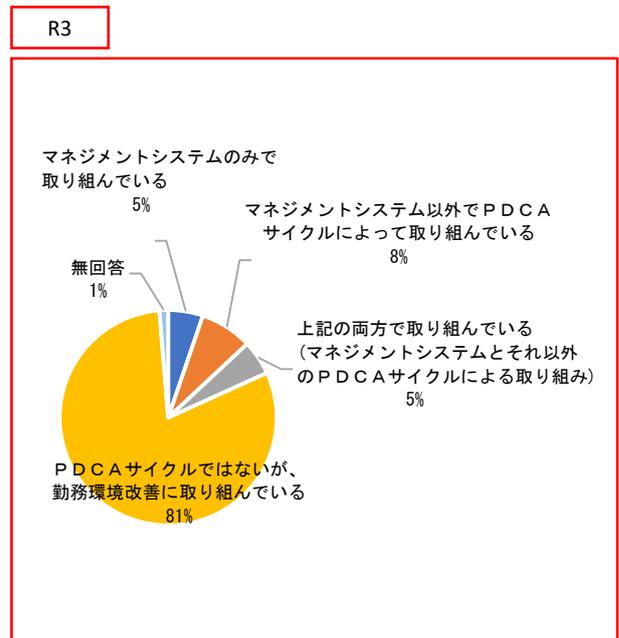
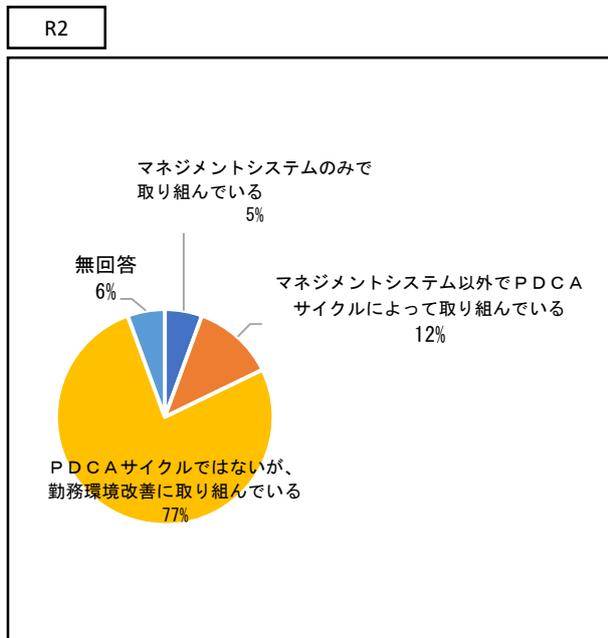


【R2】 既に取り組んでいる 74% + 今後取り組みたい 13% = 87%
 【R3】 既に取り組んでいる 63% + 今後取り組みたい 22% = 85%
 ⇒ 昨年度より「既に取り組んでいる」が減少し、「今後取り組みたい」が増加した。なお、「取り組み予定なし」は 設問1-5参照。

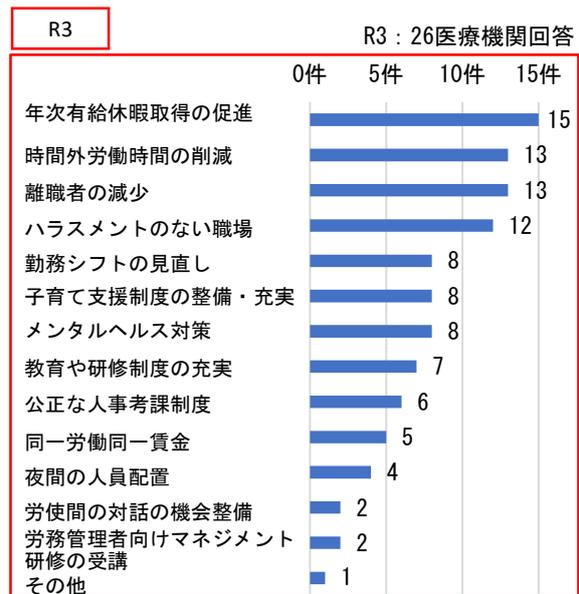
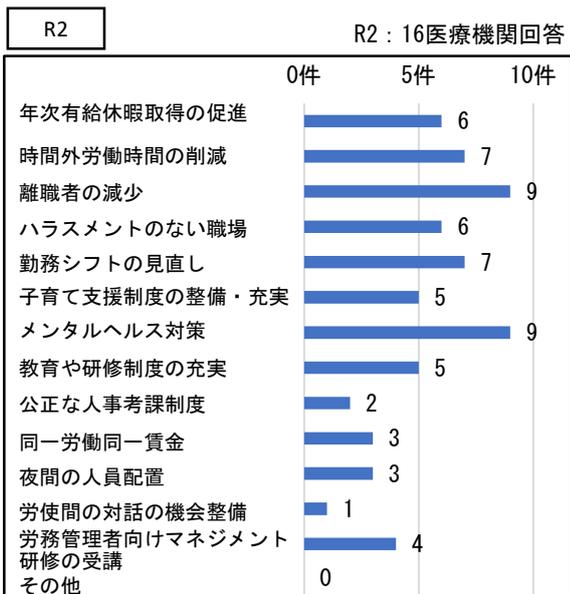
設問1-1 勤務環境改善に取り組んでいる医療機関の取組内容（複数選択可）



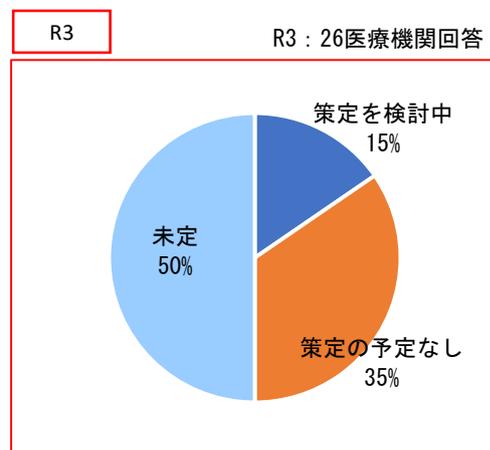
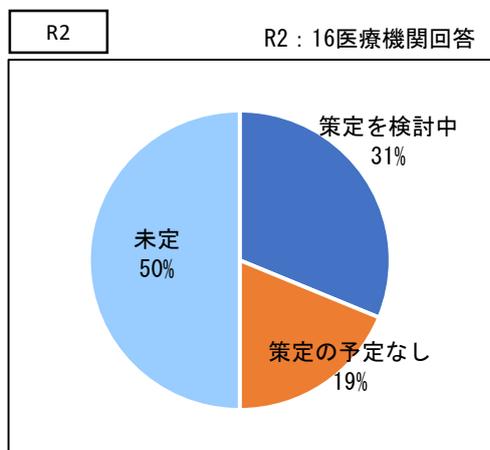
設問1-2 取り組みに使用しているシステムに○を付けてください。（一つだけ選択）



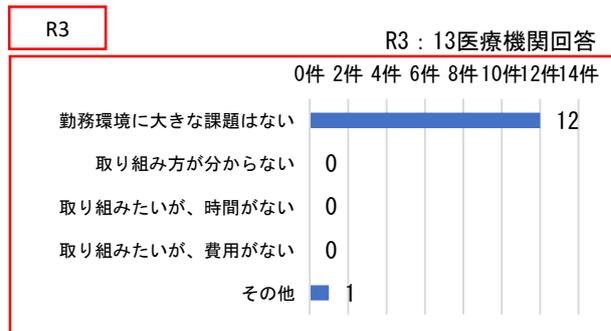
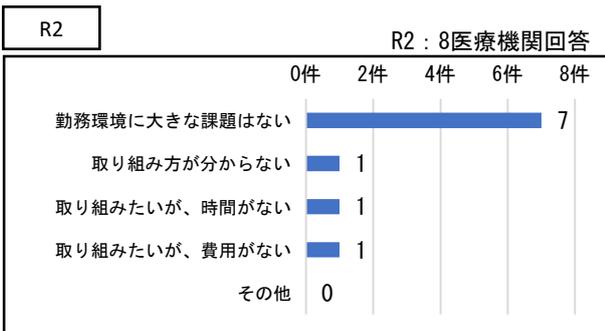
設問1-3 勤務環境改善に取り組んでいない医療機関が今後取り組みたいこと
(複数選択可)



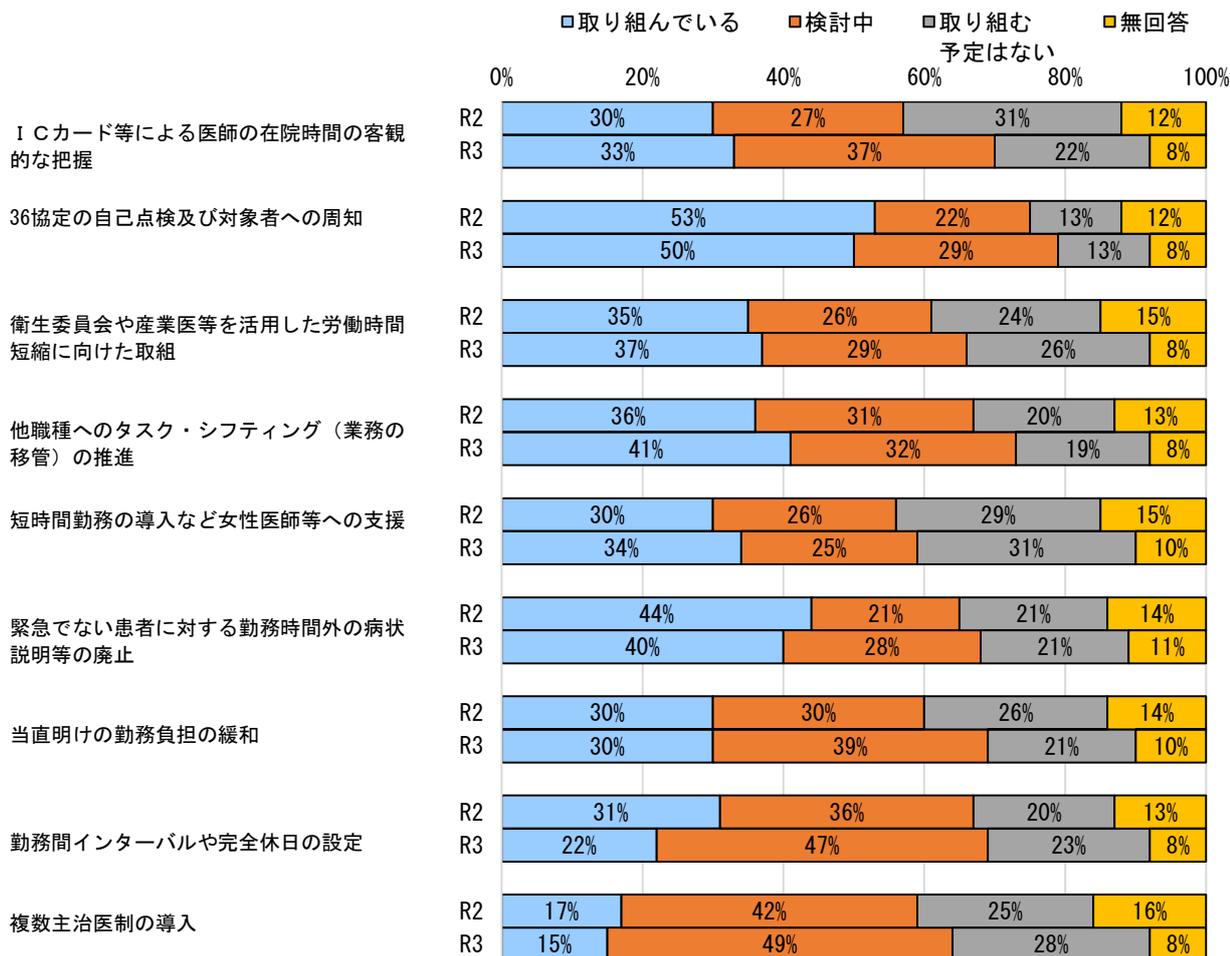
設問1-4 「今後取り組みたい」と回答した場合
「勤務環境改善マネジメントシステム」を導入し、勤務環境の改善計画を策定する予定は
ありますか。(一つだけ選択)



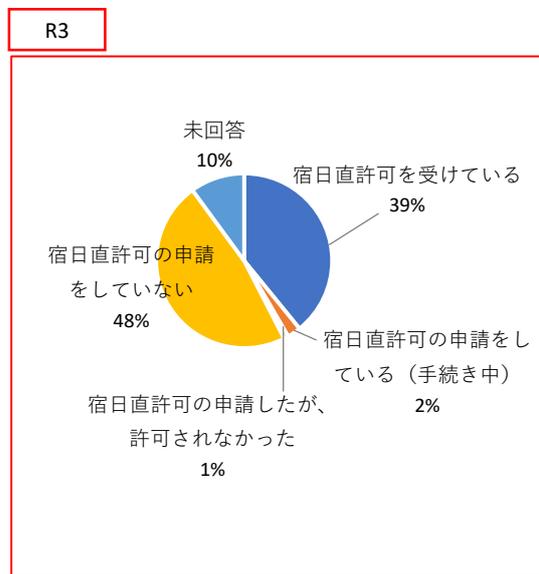
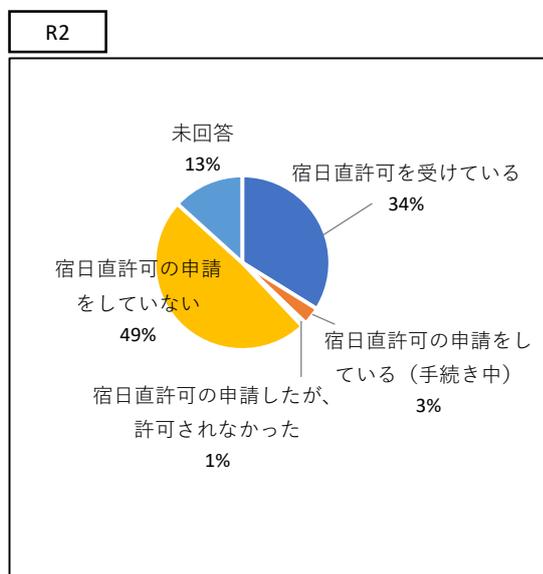
設問1-5 勤務環境改善に取り組む予定なしの医療機関の理由(複数選択可)



Ⅲ 医師の労働時間短縮に向けた取組について

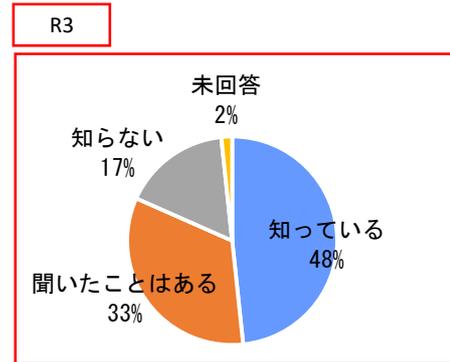
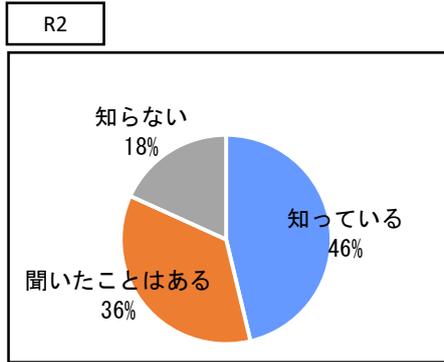


設問2 医師の宿日直業務について、労働基準監督署から宿日直の許可を受けていますか。（一つだけ選択）



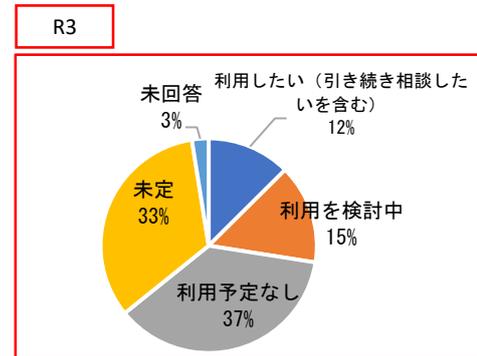
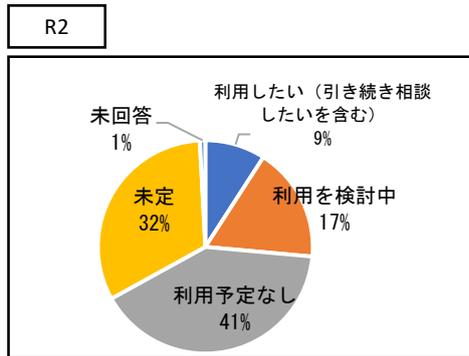
IV 高知県医療勤務環境改善支援センターの利用について

設問1 当センターの業務内容の認知度



【R2】 知っている 46% + 聞いたことあり 36% =82%
 【R3】 知っている 48% + 聞いたことあり 33% =81%
 ⇒ 昨年度と比べ、「知っている」の割合が増えている。

設問2 当センターの利用予定



【R2】 利用したい 9% + 利用を検討中 17% =26%
 【R3】 利用したい 12% + 利用を検討中 15% =27%
 ⇒ 利用したいが昨年度より増えている、利用を検討中も含め約3割が利用を前向きに考えている。

設問2-1 当センターを利用する予定がない理由 (複数選択可)

